

こんにちは



『教室裁判』の場面



演劇で全道一 大麻高校演劇部

大事なのは評価じゃない。観る人の心を動かす舞台を作りたい。



「登場人物の自分史」。文字や絵で、それぞれの役が徹底的に分析されています。このメモもみんなで話し合っ

て作り上げました。きは徹底的に。」



顧問 / 山崎 公博 先生
(やまざき きみひろ)

台本や演出を手掛けます。細かい部分は生徒たちに自由にやらせよう。「彼らなら大丈夫、信頼しますから。」と話します。

多くの人に評価された要因は舞台の作りこみではと話す皆さん。より奥深い演技にするため、それぞれの登場人物の性格や服装、家庭状況などのプロフィールをみんなで作って議論しました。

全国各地の「現場の声」が聞ける

参加無料 申込不要 障がい者の農業参加による地域の活性化を考えるシンポジウム

～持続可能な経営のために、農業と福祉の連携を～

日時 1月25日(土) 13時～16時30分
会場 酪農学園大学学生ホール
詳細 酪農学園大学 作物学研究室 ☎ 388-4785



主催：障がい者の農業参加による地域の活性化を考える会、農林水産省北海道農政事務所。共催：酪農学園大学。協力：江別市。

1. 農業分野における障がい者雇用の今後の展望
フラワービレッジ倉瀬(くらぶち)生産組合理事長(群馬県) 近藤龍良
 2. 大学附属農場における障がい者雇用と特別支援学校との連携
岐阜大学フィールド科学研究センター教授(岐阜県) 大場伸哉
 3. 江別市近郊の農場における障がい者雇用の実践例(南幌町)
農福活動による地域の活性化
鳥取県障がい者就労事業振興センター長(鳥取県) 濱田和弘
 4. 障がい者の農業参加を支えるネットワークづくりの必要性
JA 共済総合研究所研究員(東京都) 濱田健司
 5. 障がい者の農業参加を支えるネットワークづくりの必要性
JA 共済総合研究所研究員(東京都) 濱田健司
- 【総合討論】 司会 酪農学園大学教授 義平大樹 ※演題は変更する可能性があります。